

子どもの権利思想の源流

荒川 麻里 (筑波大学/教育制度学)

ヤヌシュ・コルチャック

～すべてをこどものために～

- ◆ 種別：VHS ビデオ (ドキュメンタリー)
- ◆ 日本語版監修：日本コルチャック記念実行委員会
- ◆ 製作年：2001 年
- ◆ 製作国：フランス
- ◆ 製作：France2/Transparences Productions/
TV 10 Angers/Noga Communications
- ◆ 日本語版制作：(株) ポルケ
- ◆ 日本語版制作協力：(株) アンゲル
- ◆ 日本語版発行：(株) 紀伊國屋書店
- ◆ 時間：本編 51 分
- ◆ 音声：日本語/ヘブライ語/フランス語など
- ◆ 字幕：日本語



出典：ヤヌシュ・コルチャック著/サンドラ・ジョウゼフ編著/津崎哲雄訳『コルチャック先生のいのちの言葉』明石出版、2001 年、8 頁。
ビデオにも登場する画家 Itzhak Belfer の挿絵。

あらすじ

すべてを子どものために捧げ、トレ布林カ絶滅収容所のガス室でユダヤ人孤児と共に亡くなった教育者、作家、医師であるヤヌシュ・コルチャック (Janusz Korczak, 1878- 1942)、本名ヘンリク・ゴルトシュミット (Henryk Goldszmit) の生涯を、当時の映像や写真と共に記録したドキュメンタリーである。

シーン再現

＜コルチャックの最期を知るマレク (Marek Rudnicki) の回想 (chapter 7) より＞

私はこの目で見ました。そこには 192 人の子供たちが、全員よそ行きの服を着て集まっていたのです。コルチャック先生は静かに言いました。「さあ、ここから列車まで歩いて行きましょう。列車に乗って行き、みんなで働くのです」と。子供が嫌がったのは、大声をあげるドイツ人だけでした。子供たちが整列して準備ができると、先生は言いました。「君も私たちと一緒に来るのかい？」と。「何か手伝いましょう」と答えました。「それでは行こう」と言い、先生は幼い女の子の手を引きました。疲労のため、先生にはそれがやっつのようなようでした。(中略) 休むことなく歩いて向かった先は、移送駅でした。

列も乱れてきた頃、私は声を聞きました。先生の声です。じっと前を見つめ、先生がつぶやいていました。「なぜだ？」…歩きながら、何度も繰り返すのです。真実の心の叫びに違いありません。コルチャック先生は決して偉大な英雄ではなく、等身大の人間でした。自分たちの最期に近いことを感じ、悔しさをかみしめていたはずですが、先生は最期まで子供たちを慈しみつつ、自問を続けました。

Chapter

1. オープニング/2'36
2. 若き日の決意/14'24
3. 幸せな日々/6'35
4. 迫り来る危険/3'38
5. 戦争の勃発/2'07
6. ゲットーでの生活/9'26
7. 最後の行進/7'14
8. 意志を継ぐ人々/5'00



現在もワルシャワにある孤児院ドム・シエロット (Dom Sierot) とコルチャックの記念碑 (2007年8月・筆者撮影)

権利条約ネットワーク「なぜ、ポーランドは子どもの権利条約を提案したのか」『季刊教育法』93号、エイデル研究所、1993年、79頁)。子どもは子ども自身として人間であり、尊厳をもっている。子どもはだんだんと人間になるのではなく、すでに人間であるというコルチャックの思想が、権利条約へとつながったのである。

筆者がチュービンゲン大学に留学していた2003年夏学期、『教育とは何か?』と題する教育学入門のオリジナルテキストには、コルチャックの「誰が教育者になれるのか?」という短編が最初の頁に取り上げられていた。教育学を学ぶ上で、欠かせない人物の一人である。現在も残されている孤児院には、世界中から訪問者が集う。筆者が訪ねた折には、アメリカの高校生の研修バスが3台も停まっていたことを思い出す。

コルチャックと子どもたちの最後が確認されたのは、1942年8月5日、ワルシャワ市内の移送駅 (Umschlagplatz) であった。「子どもたちだけを死なせるわけにはいかない」。そう言い残し、トレ布林カ絶滅収容所行きの列車に乗り込み、ガス室で亡くなった。彼が最後に子どもたちに伝えたいと書き残したのは、「自分の道を選ぶのは自分だ」という言葉である。彼らが歩いたであろう移送駅向かいの小道には、コルチャックの記念碑がひっそりと置かれている。

権利条約43条に基づき、締約国の状況を審査する「国連子どもの権利委員会」が設置され、活動している。委員会が日本に対して繰り返し勧告しているのは、「過度に競争的な教育制度」だ。競争の後に、子どもはようやく人間へと成長するのではない。今、まさに生きて、学んでいる子どもを支援する教育制度が求められている。

Information

【映画】VHS『コルチャック先生』(原題: Korczak) 監督: アンジェイ・ワイダ、製作国: ポーランド/ドイツ、製作年: 1990年、発行: 朝日新聞社、本編118分、音声ポーランド語、日本語字幕。アンジェイ・ワイダ監督が、20年を費やした作品である。

【書籍】トメク・ボガツキ/柳田邦男訳『コルチャック先生: 子どもの権利条約の父』講談社、2011年。Janusz Korczak, *Ghetto diary*, Yale University Press, 2003

自分の道を選ぶのは、自分だ！